

第1号様式(第5条関係)

平成29年度 指定管理者年度総合評価表

作成年月日	平成30年7月20日
-------	------------

1 指定管理者概要

施設名	尾岱沼ふれあいキャンプ場		
所在地	別海町尾岱沼岬町66番地		
施設概要	中央管理棟、、バンガローA15棟、B1棟、水洗トイレ2基、グリルキャビン、炊事場3基、野外炉3基		
指定管理者	名称	株式会社別海町観光開発公社	
	代表者	曾根 興三	
	所在地	別海町野付63番地	
指定期間	平成27年 4月 1日～平成30年 3月31日		
指定管理者の業務	(1)施設の管理に関する業務 (2)施設の運営に関する業務 (3)施設の経営管理に関する業務 (4)その他法律等により義務づけられている書類の作成と関係機関への提出 (5)その他の業務		
町の所管課	産業振興部商工観光課		
	電話	0153-75-2111(内線 1622)	
	E-mail	syoukou@betsukai.jp	

2 指定管理者による自己評価

評価	施設管理、清掃等の日々業務に対しては滞りなく行えた。 また、お客様への対応にも問題なく、苦情や事故などにも特になく管理運営が行えた。
今後について	平成30年度は、老朽化によるバンガローの補修と草刈機の購入を進めてくれているので、その他の修繕は今以上に自分で行いたいと思います。

3 町(所管課)の総合評価

評価	施設の設置目的を踏まえ、関係法令等を遵守し適切に運営を行っていた。また、施設、設備等の修繕を随時行い、大きな修繕等があった場合は随時町に報告し、協議により修繕を行っていた。定期的な清掃、草刈を行うなど維持管理がされていた。
指摘事項	設備等の経年劣化が進んでいるため、修繕が必要な場合は、規模に応じて所管課と協議の上、計画的な対応を行うこと。

4 管理運営状況に係る個別評価

評価欄への記入内容 ◎： 町が示した条件や内容を上回る水準で管理運営されていた ○： 町が示した条件や内容が概ね達成されていた ×： 町が示した条件や内容が達成されていなかった 特記事項への記入内容 特記事項への記入内容は、評価が◎又は×となった項目についてのみ記載

(1)管理・運営状況

指標	評価	特記事項
開館日、開館時間の状況	○	
法令の遵守の状況	○	
適正な人員配置状況	○	
従業員の労務環境確保の状況	○	
障がい者の雇用状況(該当がある場合)	—	該当なし
従業員への教育・研修状況	○	
緊急事態への対応状況	×	緊急時対応マニュアルを整備し、従事者に周知徹底を図るよう指示した。
書類等の管理保存状況	○	
報告書の提出状況	○	
利用料金の取扱状況(該当ある場合)	○	
利用料金の減免状況(該当ある場合)	○	
口座管理、経理の区分状況	○	
管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償状況	—	事例なし
付保する保険(保険加入を指定している場合)の状況	○	
重要事項の変更の届出状況	—	事例なし
施設の使用許可及び使用条件等の状況	○	
施設、設備の保守管理状況	◎	職員の定期的な見回りにより、早期修繕等適切に管理をおこなっていた。
備品の管理状況	○	
清掃業務、保安業務、その他必要な衛生管理業務等の状況	○	定期的な清掃のほか、職員による草刈り等の環境整備や定期的な見回りにより、適切に管理を行っていた。
自主事業の状況(選定時に提案があった場合のみ必須)	○	
環境への配慮(町から事前に条件を示している場合のみ必須)	○	施設内の節電やごみの分別等、環境への配慮に努めていた。

苦情・要望等の受入体制確保の状況	○	
苦情・要望等への対応状況	○	

5 他の事業評価実施状況

(1)セルフモニタリング

自主点検状況	建築物、設備及び備品について、適宜点検を実施した。 ・施設、トイレ見回り ・電気点検、ドア点検、 ・消防用設備点検 ・草刈りなどを実施
--------	---

(2)定期モニタリング

定期報告状況	年間事業報告書が遅滞なく提出され、内容も適切であった。
--------	-----------------------------

(3)随時モニタリング

実地調査状況	実施回数	実施日	実施者	実施内容
	回	4月28日	松本	施設周辺破損状況確認
		7月4日	松本	施設周辺破損状況確認
		10月13日	松本	建物破損状況確認
		10月20日	大槻、松本	建物破損状況確認
		11月29日	松本	施設周辺破損状況確認
実施結果				
建物及び設備の破損等がある場合は、適切に報告・修繕等の対応をした。				

(4)その他の状況

指定管理業務に関する財務状況 (計画と実績の状況)	概ね計画どおり遂行されていた。
その他の取組状況 (運営に関する工夫)	場内でのイベントを町内の小・中学校に周知し利用者の増加を図っていた。